

# 明細(増加資産・全資産用)の書き方

この明細書が「全部で何枚あって、うち何枚目の明細書なのか」を記入してください。

(資産の種類)

1. 構築物
2. 機械及び装置
3. 船舶
4. 飛行機
5. 車両及び運搬具

(資産の名称)

※資産の名称はカタカナ(漢字・ひらがな可)・英字(大文字)・数字で左詰めで記入してください。  
※20字を超える場合は、20字以内に簡略化してください。

前年度申告分から増加した分の資産を記入する場合は「増加資産」を○で囲み、資産の全部を記入する場合は「全資産」を○で囲んでください。なお、初めて与那原町へ申告する場合は、必ず「全資産」の申告をしてください。

## 種類別明細書(増加資産・全資産用)

所有者コード		所有者名													
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額	耐用年数	(ロ)減価償却率	(ハ)課税標準の特例		課税標準額	増加事由	摘要
					年号	年	月				率	コード			
01	1	記入は不要です	ホソウロメン	1	4	25	6	2,335,000	10					① 2 ③ 4	
02	1	記入は不要です	ノダテカンバン	1	4	25	6	1,670,000	20					① 2 ③ 4	
03	2		キンゾクカコウキカイ	1	4	25	6	735,000	10					① 2 ③ 4	
04	5		フォークリフト	1	4	19	6	850,000	4					① 2 ③ 4	H25.4 ○市から
05	6		クーラー	1	4	25	3	300,000	6					① 2 ③ 4	
06	6		デンシコピー	1	4	24	10	250,500	5					① 2 ③ 4	H25 申告漏れ
07	2		デンワコウカンキ	1	4	20	5	2,200,000	6					① 2 ③ 4	種類変更
08														① 2 ③ 4	
09														① 2 ③ 4	
10														① 2 ③ 4	
11														① 2 ③ 4	
12														① 2 ③ 4	
13														① 2 ③ 4	
14														① 2 ③ 4	
15														① 2 ③ 4	
16														① 2 ③ 4	
17														① 2 ③ 4	
18														① 2 ③ 4	
19														① 2 ③ 4	
20														① 2 ③ 4	
小計				7				8,340,500							

第二十六号様式別表一(提出用)

(耐用年数)  
法定耐用年数(「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」別表1, 2, 5及び6)に基づいて記入してください。

(増加事由)  
資産の増加事由について、該当する番号を○で囲んでください。

1. 新品取得
2. 中古品取得
3. 移動による受入れ

(摘要)  
増加事由が「3移動」「4その他」に該当する場合は、その内容を記入してください。  
また、課税標準の特例適用や増加償却等の当該資産に係る特記事項があれば記入してください。

(資産の種類及び取得価額を修正する場合)  
増加事由が「4その他」とし、この種類別明細書(増加資産・全資産用)に正しい資産内容を記入して減少させてください。なお、「摘要欄」には「種類の変更」等の修正理由を記入してください。

この計が償却資産申告書の「前年中に取得したものの(ハ)」の合計欄と一致します。

注意 「年号」の欄は、令和は「5またはR」、平成は「4またはH」、昭和は「3またはS」と記入してください。  
「増加事由」の欄は、1.新品取得、2.中古品取得、3.移動による受入れ、4.その他 いずれかに○印をつけてください。

資産を取得するために支出した金額又は支出すべき金額(付帯費を含む)を記入してください。また取得価額が20万円未満であっても、個別償却している資産は申告してください。  
なお、圧縮記帳は償却資産の評価上認められていませんので、当該圧縮額を含めた実際の取得価額を記入してください。